

高度な技術とフロンティア・スピリッツで未来に挑戦する東洋アルミエコ ステージ1からエコステージ2に

東洋アルミ株式会社（本社：埼玉県さいたま市 石井良平社長 創業昭和44年 従業員80名 <http://www.toyoalm.co.jp/>）は、福島県白河市に最新の設備と技術を備えた白河総合工場を構える『アルミニウム管・棒の総合メーカー』です。OA事務機・デジタル光学機器を中心に、あらゆる用途に応じたアルミニウム合金管・棒を生産し、全国・世界にそのシェアを拡大し続けています。平成13年にIS09002、平成15年にはIS09001を取得するなど顧客満足度と、経営品質の向上に努めてきました。

アルミニウム合金管を月産300トン生産する白河総合工場は、2006年7月20日、エコステージ1の認証を取得。顧問（前取締役 企画室長）佐藤茂寿氏にエコステージ導入の目的と、取り組み内容、そして効果についてお聞きしました。

<エコステージ導入のきっかけと、目的をお教え下さい。>

佐藤氏：導入のきっかけとなったのは、最近特に環境マネジメントシステムの構築を求めのお取引先様が多くなってきたことです。またこのシステムの構築により自社の経営改善が図れることも期待していました。弊社はIS09001を取得しているのが当初はIS014001の取得を計画していたのですが、エコステージの自社の体力に合わせてステージアップできることや、認証取得費用がIS014001と比べて安いことが魅力でした。

<具体的な活動内容を教えてください。>

佐藤氏：①改善活動の基本である5Sのレベルアップを推進 ②省エネルギーの推進 ③省資源の推進の3点です。②では特に電力および灯油の使用量の削減として身の回りの節約から意識アップが図れました。③では不良率の削減に重点指向しました。

<エコステージ導入による変化や、具体的な効果はございましたか？>

佐藤氏：導入による効果は何と云っても、社員ひとりひとりの環境に対する意識アップがはっきり見えるようになったことです。地球環境への社会的責任や問題意識が高まりました。2つ目は、短期・中期の『環境目的・目標』を設定することで目指すものが具体的になり、工場の全体行動として認識され、実施されるようになったことです。また、定量的な効果としては、経費が対前期14%削減できました。これは特に、灯油・洗浄液・ガス・不良率の削減が著しかったことによります。

<活動の中で、ご苦労された点・難しかった点などがございましたか？>

佐藤氏：従来からもやっていたことですが、今回改めて、法的要求事項の特定や、法規制・基準に対する調査・分析などを県や市そして、工業団地組合や、お取引先のグリーン調達要求事項などかなり広範囲に実施しました。これがかなりのロードでした。

<それでは、今後の取り組み計画をお聞かせ下さい。>

佐藤氏：アルミニウムは、産業のあらゆる分野で広く用いられています。その上、リサイクルに適した省資源・省エネルギー対応の環境に優しい金属です。これからも世界の未来を創造する金属として益々の発展が期待されます。こんなに優れた金属を扱っている私どもは、更なる地球環境の保全と質的向上のために10月初めからエコステージ2の認証取得に向けた改善活動のキックオフをしました。

<エコステージ1 評価時の風景>

